

# 財政分析総合

## ——財政・税制と私たちの暮らし——

担当者氏名：澁谷 英樹  
(研究室番号：Q6007)

### 1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

私が担当するプロジェクト研究のテーマは、わが国の財政を主とする経済現象を、数値データ・文書データを用いて明らかにすることにあります。その範囲は、政府にとどまらず、企業や家計にも及びます。

2022年は、多くの財・サービスが値上げされた年でした。とくに、原油や天然ガスといったエネルギー価格の高騰は、私たちの家計に大きな影響を及ぼしました。社会保障費の負担が増す中で、私たちはこの厳しい経済の変動に立ち向かう方法を考えなければなりません。

2024年度には、少額投資非課税制度（NISA）が改正されます。これは、『資産所得倍増プラン』に示されるように、一方では私たちの貯蓄を奨励する制度であり、他方では投資を誘うことで産業の発展を狙う政策でもあります。折しも ChatGPT が注目を集めているように、新たなテクノロジーが期待を寄せられています。資本や知識、情報を集め、進歩した技術を経済成長につなげることができれば、私たちがいま抱えている財政問題の解決にも寄与するでしょう。

このように、財政の問題とは、この経済社会と私たちの暮らしに関わる将来の見通しを立てることにほかなりません。その中心は、金銭（貨幣）の計算にあります。

主要テーマ	テーマの内容
地方財政	ゼミ生の居住する市町村や、関心をもつ市町村の財政・地域経済を研究対象とします。財政指標を用いた分析、テキストデータを用いた分析、公共施設の老朽化指標を用いた分析を中心とします。
企業分析	上場企業の有価証券報告書データベースを用いた分析をおこないます。企業収支や、国・地方公共団体との財政的な関係を研究します。
社会保障	日本の社会保障制度のほか、諸外国の社会保障制度との比較分析を主な研究対象とします。
その他	それ以外にも、税制・家計など、収入と支出にかかわる研究をひろく扱います。

### 2. プロジェクト研究の進め方

3年次Q1では、指導教員が収集した財政文書データベースを用いて、各年度の財政に

おける中心的なテーマを示します。Q2では、指導教員が受講生の興味関心に応じて、主要なテーマの分析手法を教授します。また、受講生が居住する各市町村の財政状況を解説します。Q3およびQ4では、具体的な研究手法を確定します。たとえば、事例分析、シミュレーション、プログラミングといった手法があります。地方財政の場合、事例分析によることが多くなります。

4年次Q1には財政統計や資料が新年度に改訂されるため、中心的なテーマを再検討します。また、卒業論文はQ2までにおおむね半分まで進捗させます。4年次Q3およびQ4には卒業論文を書き上げます。

### 3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

公共政策コースが望ましい。原則として、3年次第2クォーターに開講される総合演習B（担当：澁谷）を履修してください。（短期留学等のため履修困難な場合は必ず相談してください。）また、関連科目として「財政学」および「地方財政論」を履修することが望ましい。

### 4. プロジェクト研究開始までの準備

研究分野として「政府」「企業」「家計」のうちいずれを重視するかを熟考してください。その上で、インターネットで選択した分野のことばを検索してみましょう。

たとえば、地方財政の場合には、市町村のウェブサイトの財政に関する情報を閲覧するべきでしょう。（財政は、市政情報のカテゴリに含まれることが多いです。）また、企業の場合には、有価証券報告書を閲覧してその企業の収支を把握し、利益とそれに対して課される法人税・住民税及び事業税の額を知りましょう。また、その企業が本社を置いている市町村の経済や財政がどのようなものであるかも調べてみてください。

### 5. その他

経済学に関連する領域の中でも、とくに「収支」と「制度」を重視します。そのため、金銭計算に関心をもっていることが望ましいです。

公務員志望者には、研究内容等で配慮しています。2022年度には、澁谷ゼミの学生が『第1回 今後の社会資本のあり方に関する懸賞論文』に佳作入選しました。

### 6. 選考方法

志望理由書、面接によります。